

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢市新庁舎	階数	地上10F地下1F
建設地	神奈川県藤沢市朝日町1番地の1	構造	RC造
用途地域	商業地域、第一種住居地域	平均居住人員	3,000 人
気候区分		年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所、物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2015年3月20日
敷地面積	11,115 m ²	作成者	株式会社梓設計
建築面積	4,509 m ²	確認日	2015年3月24日
延床面積	35,278 m ²	確認者	株式会社梓設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値: 100%
 建築物の取組み: 93%
 上記+: 84%
 上記+: 84%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4.2
 Q1 室内環境: 4.2
 Q3 室外環境(敷地内): 4.2
 LR1 エネルギー: 4.4
 LR2 資源・マテリアル: 4.1
 LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	人・環境にやさしい市民に親しまれる庁舎	その他 0
Q1 室内環境	十分な自然採光とルーバーによる日射抑制を行っている。加湿機能	Q2 サービス性能 免震構造を採用し、安全・安心な庁舎としている。
Q3 室外環境(敷地内)		Q3 室外環境(敷地内) 広場や植栽などの設置により、来庁者や地域に開放した計画としている。
LR1 エネルギー	太陽光発電パネル、自然換気システムを設置している。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用、雨水再利用設備の設置をしている。
LR3 敷地外環境		LR3 敷地外環境 前面道路に対して壁面緑化を行い、潤いを与える計画としている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される